



トップニュース：北陸3日間連続シンポジウム開催！！

えちぜん鉄道が全線運行再開を果たしました。大変喜ぶべきことですが、これは福井にとっていわば一里塚。鉄道・バスなどの公共交通をどう再構築していくか、そしてそれを活かして持続可能なまちづくりをどう展開していけるかが、実は福井の中長期の課題であり、今、そのための最初の判断を求められているのが現状です。

そんな中、11月22日から24日までの3日間、“北陸3日間連続シンポジウム”の開催が企画されました。11月22日は中部地区路面電車サミット at 万葉線『人がまん中まちづくり』が高岡市の国立高岡短期大学にて、23日は『鉄道まちづくりシンポジウム：地方鉄道そこが聞きたい！これが言いたい！』が勝山市市民ホールにて、そして24日にはわれらがROBAの会のまちづくり進歩ジウム『つないで生きる電車・バス～「のりのりマップ」から見えてくる福井の公共交通とまちづくり～』が福井市のフェニクスプラザ小ホールにて開催となりますが、既に全国的に注目を集めはじめているようで、今から開催が楽しみです。一角を占めるROBAの会のまちづくり進歩ジウム、是非成功させるとともに、福井での問題への取り組みのヒントにしたいものですね。

(文：清水)

活動報告

- 9月27日 県都市計画説明会(福井)
- 9月27日 丹南市民自治研究センター事業「電車でGO」フォーラム
- 9月29日 秋色のまちめぐり・風流塾との打合せ
- 10月4日・5日 風流塾共同「秋色のまちめぐり」
- 10月4日 イベント輸送調査
- 10月8日 まちづくり懇談会第十三回
- 10月11日・12日 風流塾共同「秋色のまちめぐり」
- 10月11日・12日 「コラボしよう!2003」
- 10月13日 アルナ遠山氏を招いてのLRV勉強会
- 10月14日 10月作業部会・シンポジウム作業部会
- 10月16日 全国都市再生調査・県打合せ
- 10月 随時 のりつぎ調査隊実施
- 10月24日(金) 10月例会

今後の予定

- 10月25日(土) のりつぎ調査隊ワークショップ
- 11月1日(土) ワークショップまとめ作業部会
- 11月1日(土) ROBA勉強会(川上先生)
- 11月 随時 シンポジウム作業部会
- 11月18日(火) 11月作業部会・シンポジウム準備
- 11月22日(土) 中部地区路面電車サミット参加
- 11月23日(日) 鉄道まちづくりシンポジウム参加
- 11月24日(月) まちづくり進歩ジウム『つないで生きる電車・バス』～「のりのりマップ」から見えてくる福井の公共交通とまちづくり～開催
- 11月28日(金) 11月例会
- 11月 随時 全国都市再生調査打合せ

ゆうじんの部屋 書籍紹介

21世紀の都市を考える

社会的共通資本としての都市-2

著者 宇沢弘文・國則守生・内山勝久 編
東京大学出版会 3600円+税

都市は何のためにあるのか、都市計画とは何のためにするのか。そうした根本まで立ち返り、日本の都市計画を批判的に見たのがこの書である。上記の編者以外の著者として、伊藤滋、原科幸彦等都市計画の重鎮も含まれているが、過度に自動車に依存した都市形態を批判する考えは我々と共通である。

この本は路面電車推進を目的に書かれた本ではない。しかし、路面電車推進運動を行う者に対して、ちょっとした路面電車啓蒙書よりはるかに力を与えてくれる良書である。縦割りの役人が自らに責任が降りかからないことだけを考えたらどうなるか。都市は曖昧な空間や深みをなくしてしまう。行政マンである反省を込めて読むことができた。

(文・美濃部)

「第6回 全国路面電車サミット IN 函館」に参加して（参加者 高橋 八州太郎） 状況・・・航空機を乗り継いで

10月2日、3日、4日と全国路面電車サミットに参加のため、函館に行ってきました。初日は少し雨が降った程度で大きな天候の崩れもなく、秋晴れのよい日でした。函館は人口28万人と福井市より少し多いが、市街地の密度ははるかに我が市より多い気がした。中心部を走る路面電車は5分間隔できます。枝線でも10分間隔で運行されている。

主催・・・毎回、各地持ち回り開催

サミット的主催は「函館ちんちん電車を走らせる会」で、本当のちんちん電車を走らせています。これは、もちろん観光用として運行されており、この会が資金を集めて、1台だけ函館どおりに再生させたそうです。そしてまた、もう一台、今度はレプリカ（安いので）を造ろうかということで運動（資金カンパ等）をやろうかといっているところだそうです。

全国各地から150余名の参加でした。

路面電車・・・街に溶け込んでいる

部分低床車を1台だけ導入して運行しています。中央部から乗入れ、前で降りるタイプです。昼間でも、学生以外にも多くの市民が買い物籠を下げて乗っています。現況のプラットホームは約15cmと低い。屋根のないところが多い。JR函館駅前にはシェルターがありました。

サミット会議・・・ROBAの会が全国路面電車愛好支援団体へ加盟

1日目は国土交通省の鉄道局、道路局の担当官より路面電車の未来について、それぞれの思い出話も含めて語ってもらいました。

移動して路面電車の体験乗車をして、夕方の代表者会議、ウェルカムパーティと続く。代表者会議では、全国路面電車サミットを開催する、全国路面電車愛好支援団体への加盟登録をするのに、今回の代表者会議に審議をしてもらうことと、厳正な(?)審議をいただいて同愛好支援団体へ加盟できました。また、次回(来年の10月22日から23日)の開催地は高知市、そしてその次は(2006年)長崎市と決定しました。さて、福井ではいつ開催できるだろうか?そんな思いをめぐらしました。

そして、ウェルカムパーティに出席。郷土芸能、歌ありと楽しいひとときを過ごすことができました。その中で、来年、地方鉄道街づくり会議を行う島根県の県会議員さんと話す機会がもてました。まるで、そのエネルギーは坂川先生を思い出させるに十分でした。

2日目の午前中は、市内観光を兼ねてまち歩きを体験。地元の『歴史と風土を守る会』の方が中心で案内してもらいました。名物のケーブルカーで市内を一望。午後は分科会形式での会議体でした。私は第2分科会の「LRTとまちづくり」に参加。三菱総合研究所の本田氏の基調講演から始まり、講演者を含む4人でパネルディスカッションを行いました。

3日目の午前中は全体集会の閉会式があり、各部会からの報告と、次期開催地の高知の代表が今回のお礼と高知サミット参加への熱いアピールがありました。

午後は、映画祭の企画があり、函館を舞台とした『キッチン』の鑑賞会がありましたが、帰りの予定があったので午後3時に函館を後にして帰路に立った。

函館の夜・・・各地で活動している人たちとの交流

分科会終了後は、LRT札幌の吉岡氏、岐阜未来研の堀氏らと函館の名物のいかとLRTをつまみにしてしばし談義。北海道のビールはうまい。

もっばら、自分たちの会の運営やら今日の分科会のあり方やその結果などについてお互いの意見を交換し合う場となり、とても有意義でした。

なかでも、吉岡氏の主催する『LRT札幌』は札幌市を活動の中心とするNPO達を結集して、いろいろな補助金、助成金を使って、LRTを理解してもらうための市民集会等を連続シンポ形式で開催するなど努力の様子が熱く語られた。

我が街、福井でも県議会での議論が新聞記事になり、しばしば「LRT」、「LRV」という言葉が出てきます。ここは、ひとつチャンスです。キャラバン・アクション・プランの必要性がますます必要になっていると実感します。

今度は高知・・・H16年10月の予定です

時間と金の都合となりますが、今回は少し高かったが、来年は『高知』です。今から1年先ですので参加する努力をしてみませんか。行くだけが全てではないが、行くことにより、自分の見識が広まるのは確かです。(小生は貯金箱に「高知サミット用」として毎日100円を入れています。)

特に『高知』は路面電車が駅前広場に直接乗入れている実例です駅から傘をささずに路面電車に乗れます。(。広島市でも横川駅で同じホームでバスと電車が乗り換えできる。また、近県の高岡市ではコミュニティバスと万葉線が同一場所で乗り換えでみる仕組みができています。)福井市とっても何かいいアイデアを得れる場にできればと思います。(文・高橋)



低床電車



床とホームの段差なし



2日目の部会の様子



低床部分と高床部分

「福井 秋色のまちめぐり」イベント開催しました

日時 10/4(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)
場所 JR福井駅構内、田原町駅、たかす荘など
参加者 内田、川口、清水、谷村、橋本、林て、林ひ、堀井、畑

このイベントはJ Cの全国大会開催にあたって、「ふくいのみちを飾りつけしてもらえませんか？」ということで、福井市が「風流塾」という空間をデザインする団体さんに依頼しました。風流塾さんも、J Cの皆さんだけでなく市民のみなさんにも楽しんでもらえるように、小旅行やまちめぐりを通して、ふくいの秋を感じてもらいたいと、ROBAに協力を求めてきました。

企画を知ったのは9月始めで、ポスターやチラシ、アンケート、飾りつけ等を1ヶ月でバタバタと準備をし、イベント開催日は、まちめぐりのパンフレットと、のりのりマップを配って、ちょっとおでかけをする人に情報提供をしました。

<コース設定>

「まちめぐり」を満喫してもらうために、3つのモデルコースを案内しました。

温泉めぐり 湯の道コース

・福井市の北西部には、一本の道沿いに(国道416号線)4箇所も温泉があるんです！(知ってました?)秋のコースモスを見ながら、大安禅寺に寄りながら温泉に入って、心と身体を癒してはどうでしょう。

福井まちめぐり 文化の道コース

・福井の市街地にも実は歴史がたくさんあります。知っているようで知らない歴史や、知らなかった福井の歴史を知ってもらい、ふくいの良さを再発見して下さい。

自然と歴史をたずねる 一乗谷コース

・小次郎をテーマに福井が盛り上がっていて、現地でイベントも行われているので、自然と歴史に触れてみてはいかがでしょう。

この3コースを案内し、風流塾さんはJR福井駅構内、田原町駅、たかす荘などに秋色の飾りつけをメインに担当し、ROBAの会はのりつぎを始めとする、アクセスしやすい交通情報を提供しました。アンケートも同時に行い、まちめぐりをしてアンケートに答えてくれた人には、チューリップの球根をプレゼントしました。

<感想>

田原町駅は、土曜日のお昼頃は学生さんでいっぱい、困ったなあ~と思っていたら、お昼からはお客さんがぼちぼちと現れ、日曜日は福井マラソンと重なって、12時近くまで福鉄電車は待機状態でした。しかし何人かの人は電車が動くまで本を読んだりブラブラしたり...、ゆっくりとした時間を過ごしていました。また、田原町は交通結節点なので、バスが駄目なら電車、電車が駄目ならすまいるバスや路線バスと、色々な手段で北から南へ移動していきました。

福井のみちは交通の結節が便利ではありません。しかし、バラバラにある情報をひとつにまとめれば(場所にもよりますが)手段はひとつではありません。情報をいかに利用するか!各事業者が出している情報・行政が発信している情報・のりのりマップがひとつになって、公共交通がみなさんの足として利用され、その輪が広がほしいですね。



(文 はた)

NPOメッセ！ 出店してきましたヨ

10月11日(土) 12日(日) 国際交流会館 多目的ホールにて

参加者：清水、佐藤、高橋、林て、林ひ、福岡、畑

今年も参加してきました！「NPOメッセ」去年とはひと味違った雰囲気、終始和やかに開催されました。昨年の事を思い出しながら今年のメッセの報告をします。

参加団体数 31団体（昨年 15団体）
開催場所 地下 多目的ホール（昨年 3F 会議室）
実行事務局 インターナショナルクラブ
ブース 各団体とも1坪程度の割り当てがあり、
1800×90 ボード1、長机1、椅子2の範囲でアピールする



<会場づくり>

11日の午前中は、メッセの会場づくりをしました。前日に実行委員の方がベースを作ってくれたので、与えられたブースで思い思いの演出をしました。

申し込みをした団体が来なかったり、当日になると当初のレイアウトでは都合が悪かったり etc...と、急遽 机の向きや会場のレイアウトを一部変更しつつ、3時間かけて会場準備をしました。（ふう～）

あっ！なるほど

今年も年齢層のバラバラな団体が集合しました。会場づくりでちょっとしたハプニング発生。

「青春チャレンジクラブ」という団体さんですが、この団体さんは名前から想像すると、若者が集まった団体なのかな？と思うでしょ。でも、当日のメンバーの方はちょっとだけ年配の方で、5人程度で参加していました。ブースの場所は入ってすぐの所でした。

出入り口横にブースがあり会場のレイアウト上、照明の位置とずれていて（会場の明かり自体が蛍光灯の白色ではない）暗かったため、「年寄りには暗い場所だと見えん！」と言っておられました。その後も場所を変えてもらえずに2日間がんばっていました。事務局さん、柔軟に対応すればいいのと思いながらも、これからROBAの会も色々なイベントを行っていきますが、このような体験を活かしてユニバーサルデザインの精神を忘れずにがんばっていかなくては！



<ROBA ブース>

ROBA ブースは大繁盛しました！ 13時に始まりましたが、「お客さんは来ないでしょ」と甘い考えでいたのが大間違い。実行事務局がメッセ自体をビンゴ形式にしたのです。各団体のブースに行って話を聞いたら団体の番号を教えてください。色々な団体で話を聞いて最終的にビンゴになったら粗品をもらえるようになっていて、その効果と一般のお客さんが以外に多く、息をつく時間すらなかった盛況ぶりでした。

11日の5時からシンボがありました。急遽、林 博さんに無理を言わせて、パネラーで登場していただきました。（ありがとうございました）

昨年は参加団体が少なかった事や、会場が3階で入りにくかった事などの状況もあり、良かったと思いませんでしたが、今年は他団体さんとの交流が深まった事やROBAの認知度が高い事が実感できました。また、のりのりマップは非常に好評でとても嬉しく思いました。

（文 はた）



02.3.17

諏訪



03.10.18



02.3.17

京善



03.10.18



02.10.12

市野々



03.10.18



02.10.12

永平寺



03.10.18

本当にお別れですね・・・「京福電鉄 永平寺線」



勝山に向けて出発する、えちぜん鉄道イベント電車(左)を見送る、さみしげな「モハ3001」(京福電鉄時代に永平寺線を走行した) = 03.10.18 永平寺口駅(永平寺町)

10月18日(日)快晴。本日はえちぜん鉄道全線開通日。記念イベントにはあまり興味がない編集長は、永平寺口でイベント電車を見送った後、レール撤去が進んでいる永平寺線跡を訪ねることにしました。

去年は写真短歌集「ジャパニーズ 電車 ガール」の撮影のため、何度も駅を訪れているので、駅が撤去された跡地を見つめていると、異空間にいるような錯覚をおぼえた。ホーム上の建造物の撤去は、安全上、仕方がないとして、ホームだけでも「歴史的モニュメント」として残してほしい。

京善駅跡地で農作業をしていた、女性(80歳)は生まれも育ちも京善という。「現在、京福電鉄に土地を貸しているのだが、どうなるか心配だ」と話されていた。「いつまでもお元気でね」と別れを告げると、「写真を撮りに来てくれて、ありがとー」と感謝され、こころが少しあたたかくなったひとときでした。

永平寺駅に向う途中レール撤去作業を発見。「撤去作業とはいえ、けっこう手間なんだよ」と、作業員の方の弁。11月頃までには、レール撤去作業を終え、レールや枕木などの一部は、えちぜん鉄道で再利用されるようです。福井に住んでいながら、生前の永平寺線乗車体験がない編集長は、後ろレールをひかれながら、永平寺線跡に別れを告げました。(文・林 照)

「京福電鉄 永平寺線」メモ

曹洞宗大本山「永平寺」の参拝客輸送を目的に、1925年(大正14年)に開通。京福電鉄越前本線が2回目の正面事故を起こした2001年6月、越前本線、三国芦原線とともに運行停止。それまでは1日に上下32本が5駅間(6.2^{km})を12分で走っていた。

ピーク時の1964年度には245万人の乗客を運んだが、2000年度は14.6万人と減少。経営悪化と列車衝突事故により2002年10月21日廃止。77年間の軌跡に別れを告げた。すでに諏訪訪問、京善、市野々の駅舎は撤去されレールも永平寺駅から撤去され始められている。



重機によるレール撤去作業
= 市野々～永平寺 03.10.18

『電車を楽しみ、公共交通を考えよ一会』に参加して

と き：9月27日(土) 14:00～17:30

ばしよ：福井鉄道武生新駅、及び電車に乗って田原町を往復

主 催：丹南市民自治研究センター、中部地区労働福祉平和センター

ROBAの会に講演の依頼があり、この程参加いたしました。(清水・高橋・谷村・林照・内田 参加)

この催しの目的は、公共交通について電車に乗って考えてみようというものです。

武生の住民や公務員でつくる上記団体の主催で、丹南地域に密着した福井鉄道福武線に乗車しながら公共交通の活性化策や電車について考えてみようという企画です。

ROBAの会を代表して、清水事務局長が「電車と暮らしとまちづくりを考える」と題した資料をもとに、およそ70人の参加者に対し30分程話をいたしました。

また、“のりのりMAP”も配付して、MAPの活用方法を伝えました。(記・内田)



会員の広場



青山 憲三(あおやま けんぞう)

1937

昔から仕事でヨーロッパに出掛けるたびに各都市の路面電車の活躍ぶりを目の当たりにして、日本ではなぜ拙速に撤去してしまったのか残念に思っていました。

福井では幸いにして福鉄が残っており、京福電車やJRと上手にリンクして利用しやすい交通機関に再生すれば、福井もヨーロッパ並みの電車社会が到来するのかなと夢みたいな事を考えていました。

内田さんが電車の復権運動に情熱をもやされていることを知り、入会させていただきました。



「鉄クギ抜きは 人海戦術とみたり 永平寺の秋」 03.10.18 市野々～永平寺

第13回まちづくり懇談会の報告

10月9日(木) 19:00~21:00 / 駅前商店街会議室

参加者: ROBA / 川口、玉井、内田

まちなかNPO / 村北、古市、広瀬、今川

福井大学 / 吉川 県立大学 / 富田、藤重、山田

福井工大 / 古木 まちづくり福井 / 浅井常務

街歩き

約1時間北の庄通り・ガレリア通りを歩きました。そして、会議室に戻り一人ひとりの感想を発表いたしました。

- ・明かりが無くて、暗いイメージ(通りによって差あり)
- ・遅くまで営業しているところもあるが若い人向け店舗
- ・空店舗は、以前より増えている
- ・長時間安心して駐車できる駐車場が欲しい
- ・歩いて楽しい街であって欲しい
- ・ガレリア元町のポケットパークを有効活用してはどうか

フリートーク

- ・経営上、客がないのに開けておくわけにはいかない
- ・客が増えれば店舗も遅くまで開けるが、今は難しい
- ・シャッターも中が見えると閉めた後でも、見て歩けるのに。
(ウィンドウショッピングが楽しめる)
- ・ポケットパークを活かして人が集うようにしよう

まちづくり福井(株) 浅井常務から

- ・ポケットパークの活用はどんどん提案して欲しい
- ・透明のシャッターは材質の関係上、消防法の規定で不可
- ・すまいるバスは右肩上りの状況である
- ・山一証券跡のまちなか文化施設の内容の説明、他

次回開催日時: 11月13日(木) 19:00~21:00

場所: まちづくり福井(株) 2F会議室

内容: ガレリア元町のポケットパークの有効活用について大学生グループで具体的な案を提起。実行可能な施策を参加者で討議。

(文・内田)

作...漆崎耕次

編集後記.....編集委員より一言!

林(編集長)

「本屋で『バス特集』発見、よく見ると釣り雑誌でした」

清水(副編集長)

「北陸3日間連続シンポジウム!イテマエ!」

川口(副編集長)

「なんか最近忙しい~!遊びすぎかな?」

内田(発行責任者)

「今回の紙面は盛りだくさん、活動も盛りだくさん!」

事務局

ふくい路面電車とまちづくりの会

910-8031 福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: homepage2.nifty.com/tram-fukui